



# 出演者募集 オーディション

# ガハ トツ ブダ レ ル

原作  
ニイプセン

彼女はなぜ原稿を燃やし  
銃の引き金に指をかけたのか

自分の生と自己についての実感を求めて、空虚の中で心を圧された女性「ヘッダ」。生きている価値、妻であることやパートナーの意味や意義、ひとりの人間として必要な承認をめぐる、生と自己が求める切実さを描く物語。

2024年8月末、三重県文化会館で上演される  
第七劇場「ヘッダ・ガブレル」の出演者を募集します。

## 公演概要 第七劇場「ヘッダ・ガブレル」

公演会場 > 三重県文化会館 小ホール

(三重県津市一身田上津部田1234)

2024年8月31日(土)・9月1日(日)

※8月27日(火)から小屋入り予定

構成・演出・美術: 鳴海康平

出演: 第七劇場、ゲスト出演者、オーディション採択者

主催: 三重県文化会館

オーディション開催日 ▶ 3月17日(日)

オーディション申込締切 ▶ 3月8日(金)24:00 締切

要項、申込方法 ▶ 裏面をご確認ください

## 第七劇場について

1999年、演出家・鳴海康平が早稲田大学在学中に設立。国境を越えられるクリエイションをポリシーに作品を製作。ストーリーや言葉だけに頼らず、舞台美術と俳優の身体とともに「風景」によるドラマを築く独特の舞台空間が海外で高く評価される。国内外のフェスティバルなどに招待され、これまで国内25都市、海外5ヶ国(韓国、ドイツ、フランス、台湾、ポーランド)11都市で公演。2006年より東京都豊島区 atelier SENTIOを拠点とする。2013年、代表・鳴海がポーラ美術振興財団在外研修員として1年間のフランス滞在から帰国後、日仏協働作品『三人姉妹』を新国立劇場にて上演した後、2014年より三重県津市美里町に拠点を移設し、Théâtre de Bellevilleのレジデントカンパニーとなる。